



～ 26英田中学校便り

4月～



校長板倉智之

春の暖かい陽、23名の新入生と4名の新しい職員を迎え、平成26年度の英田中学校の教育活動がスタートしました。「切磋琢磨」を合い言葉に、素晴らしい一年になることを期待しています。

また、新しい県立高校入試制度2年目に向けての進路指導の充実も大きな目標と考えています。今年度も関係者の方々の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校教育目標 「夢あふれ 社会の変化に対応できる生徒の育成」

○ 今年特に生徒の皆さんに期待したいこと

- ① 意欲的に社会に関わっていかうとすること
- ② 自分に自信を持ち、自分の思いを伝えることができ、人の痛みがわかること

キーワード

- 【 **夢** あふれる生徒
- 笑顔** あふれる学校
- 魅力** あふれる職員 】

○ 美しい学校にとボランティアの方が育てた花々が咲きました



春の紫外線が気になる中
花壇の手入れありがとうございます
今年もお世話になります



着任者は

- ・事務
- ・音楽
- ・体育
- ・家庭

の先生方です

着任式での生徒会長歓迎の挨拶

ようこそ英田中に、私たちと共に頑張りましょう

○ 平成26年度入学式と歓迎オリエンテーションの様子

歓迎のことばと
誓いのことばが
しっかりと
かわされました



【入学式終えて記念撮影】



1年生を迎え元気でます

○ 25年度お世話になった三名の先生方との離任式の一コマ



「つらくても今やるべき勉強をしっかりとすることが一番大切である」と涙ながらに生徒に話されたお別れの言葉が心に残りました。

3名の先生方最後までのご指導
ありがとうございました。

○ 4/22日実施の「中3全国学力テスト」へのつぶやき

数学のA問題に、定規を使ってはいけません。と指示がありながら、線分の線対称を表現する問題があり、何人かの生徒は正解を書きながら、定規を使ったため、消してしまったようでした。正答率の0.1ポイントが問われる中、出題者は実際に何人もで問題を解いて見たのでしょうか。これでは過去の問題をしましょうとか、最後まであきらめないでとかに、大いに矛盾を感じます。これって変でしょうか・・・？